

第二百十二話 東奔西走の輸送作戦も虚し！

日本は支那大陸において戦い、広大な南方島嶼群に部隊を配置して米英豪軍と戦った。また南方資源地帯から物資を内地へ環送した。これらの作戦を成り立たせる由縁のものは、陸海軍の協同と所要船舶の確保であり、部隊輸送や物資輸送が極めて重要であった。然しながら、これらの輸送も戦局の逼迫と共に、厳しくなっていった。戦史には、それらが綴られているが、中には成功事例もあるが悲しい物語もある。戦史に現れたそれらの輸送を概括してみたい。

1 部隊輸送

- ① 松輸送(中部太平洋方面防衛強化輸送) (1943/3)
- ② 鼠輸送(駆逐艦によるガ島への増援部隊輸送・物資補給輸送) (名称は俗称)
- ③ 伊号作戦(父島・硫黄島への陸軍部隊緊急輸送) (1944/～7)
- ④ キ号作戦(一木支隊のガ島への輸送) (1942/7)
- ⑤ ち号作戦(シンガポールからサイゴンへの輸送作戦) ?
- ⑥ 丙号輸送(20・41師団の朝鮮等から東部ニューギニアへの輸送) (1943/1～2)
- ⑦ U作戦(ビルマ兵力増強の輸送) (1942/3～4)
- ⑧ 6号輸送(6師団の中国から南東方面への輸送) (1942/12～1943/1)
- ⑨ ロ号演習(満州から中部太平洋への兵力転用) (1944/2)
- ⑩ 誠作戦(近衛師団のアンダマン・ニコバル諸島への輸送) (1944/9)
- ⑪ 渾作戦(ビアク島への陸軍部隊増援、敵水上部隊撃破) (1944/6)

2 兵力転用(兵力抽出を含む)のための輸送

- ① 10号輸送(46師団のマレー方面への転用輸送) (1945/1)
- ② 11号輸送(48師団のジャワ方面への転用輸送) (1945/7)
- ③ 多号作戦(1・26師団等のレイテ島への転用輸送) (1944/10～12)
- ④ 地号作戦(レイテ島から他方面の兵力転用) (1944/12)
- ⑤ 光輸送(豪北からジャワ方面への兵力抽出輸送) (1943/8)
- ⑥ 松号輸送(セレベス方面からジャワ方面への兵力抽出輸送) (1945/6)
- ⑧ 甲号輸送(5師団の豪北からの兵力転用) (1945)
- ⑨ に号演習(アンダマン・ニコバル諸島からの兵力転用) (1945/5)
- ⑩ 戊3号作戦(トラックからニューアイルランドへの陸軍輸送) (1943/12)
- ⑪ 18号作戦(ラバウルからラエ・サラモエへの部隊輸送) (1943/1)
- ⑫ 1号作戦(海軍艦艇による南ボルネオへの陸軍部隊輸送) (1945/2～3)
- ⑬ ハ号作戦(東部ニューギニアのマダンからの転進) (1944/3)
- ⑭ 81号作戦(51師団主力のラエ方面輸送) (1943/8)

3 撤収のための輸送

- ① O作戦(キスカ島撤収) (1943/7)
- ② ケ号作戦(ガ島撤収、キスカ島撤収) (1943/1)
- ③ セ号作戦(ソロモン・コロバンガラ島からの撤収) (1943/8)

4 物資輸送

- ① SM作戦(シンガポールからビルマへの軍需品輸送) (1943)
- ② 竹輸送(豪北正面への陸軍部隊・軍需品の緊急輸送) (1944/4)
- ③ 日号作戦(日本海における大陸における緊急輸送) (1945/6)
- ④ 北号作戦(シンガポールから呉への南方重要物資輸送) (1945/2)
- ⑤ 柳輸送(独の仮装巡洋艦による日独間の戦略物資交流輸送) (1943)
- ⑥ 南号作戦(南方地域からの物資等の本土への緊急輸送) ((1945/1)

* 輸送は作戦機能とも言える。輸送なくして作戦の成功はない。戦局が厳しくなっても兵力転用を含む部隊輸送や島嶼配置部隊への軍需品の輸送に精一杯努力はしたものの、敵艦艇や航空機によりその努力は報われなかったとも言える。